

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		街路灯の維持補修		款	5	項	3	目	4	事業	1	整理番号	425		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4634	昨年度整理番号	413		
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進		予算事業区分								既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	35	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等								
	すべての区道利用者							(1) 地方自治法第281条の2第2項							
								(2) 杉並区街路灯設置基準							
事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）							活動指標名（式）								
○街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。							(1) 街路灯管理数								
							(2) 街路灯修理件数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）							成果指標 ※（代）＝適当な指標がない場合の代替指標								
○既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理及び電気料等の支払を行う。							成果指標名（1） 街路灯稼働率								
							算定式・指標の説明等 ((街路灯管理灯数×365日)－街路灯修理件数)／街路灯管理数×365日								
							成果指標名（2） 街路灯修理率								
							算定式・指標の説明等 街路灯修理件数/街路灯管理灯数								
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)					
指標	活動指標(1)	①	灯	25,122	25,155	25,164	25,197	25,165	25,199		99.9	99.9			
	活動指標(2)	②	件	2,802	2,600	1,722	1,550	2,001	1,550		129.1	129.1			
	成果指標(1)	③	%	100	100	100	100	100	100		100.0	100.0			
	成果指標(2)	④	%	11.2	10.3	7.0	6.0	7.9	6.2		127.4	131.7			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	215,096	256,153	226,955	252,076	245,318	253,920	21年度予算執行率% 97.3					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	⑦	千円	84,813	25,778	18,423	25,090	23,360	23,462						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.92 0.00	1.88 0.00	1.92 0.00	1.88 0.00	1.47 0.00	1.80 0.00						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	17,549	17,014	17,376	16,693	13,052	15,982					
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	232,645	273,167	244,331	268,769	258,370	269,902						
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	9,261	10,859	9,710	10,667	10,267	10,711						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0						
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源⑪-⑰		⑱	千円	232,645	273,167	244,331	268,769	258,370	269,902						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 425

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				街路灯維持管理(委託)	
		街路灯補修(委託)			91,393
		その他 ()			0
	(2)事業実績	区民からの情報提供による故障修理等に、緊急対応を迅速に行いランプ取替え等、街路灯の適正な維持管理を行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化は、みられません。 (街路灯管理数値:平成5年24,159灯、平成21年25,165灯)			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられています。			
	今後の予測	区全域での街路灯の設置状況は、おおむね満たされており、現状で推移し急激に増加する等大きな変動はないと予測されます。			
事業のあり 方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたいと考えます。			
	②成果向上のための方策	修理などにかかる単価等の共通化を、土木担当部全体で図るように働きかけていきます。なお、工事及び光熱費に係る経費の精査は、実施済みです。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	区が管理する道路は、無料で一般の利用に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではない。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	工事にかかる経費の精査は実施済みである。今後も単価の精査等は継続していきますが、大幅な縮減は、困難です。			
協働等 点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		経費削減のため、街路灯の新設・改修事業と連携し、新光源や資材の導入を検証・検討して行きます。			

改善・見直しの方向 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	修理要望に対して迅速な対応を行いました。現地調査を行い改修の平準化を図りました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	修理要望に対して迅速な対応を行えるよう管理番号をシールに変更して、わかりやすい位置に設置していきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	区民の理解、関心が必要となる。街路灯の重要性や修理等の情報を提供していきます。	
23年度 方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理 由	現行事業内容については、現状を的確・正確・迅速に把握し、現行予算規模での事業運営に尽力するが、原油価格の高騰により、電気料金が上がる可能性があります。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		街路灯の新設・改修		款	5	項	3	目	4	事業	2	整理番号	426						
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4634	昨年度整理番号	414						
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	35	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	13	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 杉並区街路灯設置基準							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○街路灯を新設する。 ○老朽化した街路灯を改修をする。																	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標															
		成果指標名(1)		街路灯整備率															
		算定式・指標の説明等		街路灯新設数/街路灯新設計画数															
		成果指標名(2)		街路灯改修率															
		算定式・指標の説明等		街路灯改修数/街路灯改修計画数															
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)									
指標	活動指標(1)	①	灯	44	33	25	33	33	34	97.1	100.0								
	活動指標(2)	②	灯	1,306	1,620	1,529	1,620	1,940	1,592	121.9	119.8								
	成果指標(1)	③	%	157	100	76	100	100	100	100.0	100.0								
	成果指標(2)	④	%	80.6	100.0	94.0	100.0	119.8	100.0	119.8	119.8								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	209,415	289,730	275,656	336,818	327,240	209,716	21年度予算執行率%		97.2							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	207,029	285,513	272,387	332,537	323,265	205,457	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	207,029	285,513	272,387	332,537	323,265	205,457										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.54 0.00	1.51 0.00	1.55 0.00	1.51 0.00	1.97 0.00	1.48 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	14,076	13,666	14,028	13,407	17,492	13,141									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	223,491	303,396	289,684	350,225	344,732	222,857										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	374,136	541,909	691,880	536,000	650,515	511,765										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0										
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	223,491	303,396	289,684	350,225	344,732	222,857										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 426

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		(2)事業実績		街路灯新設(委託)	
		街路灯器具光源改良(委託)			186,646
		ポールアーム改修(委託)			126,853
		その他 (LED街路灯モデル事業)			5,000
		新設要望に迅速に対応し、ポールの調査・測定のデーターを基に器具改修等で安全性の向上を図りました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	おおむね区内全路線に街路灯を設置済みとなりましたが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となります。事業開始当時に比べ、新設よりも改修の比重が大きくなりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられています。			
	今後の予測	水路での街路灯の設置が求められるため、今後も現状計画数量を維持し、設置を行っていく。改修時期を迎える街路灯の増加が見込まれます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	夜間の安全な通行の確保に、大きく貢献しています。			
	②成果向上のための方策	街路灯は、一定の規格と改修工事単価等を定めているため、成果の向上はありません。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	道路は、無料で一般の利用に供されているのが原則であるので、受益者負担は適切ではありません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	工事にかかる経費の精査は実施済みです。今後も単価の精査等は、継続していきますが、大幅な縮減は、困難です。			
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	区内の街路灯の整備は、配置数、場所ともに、おおよそ全路線の配置がほぼできている状況です。今後は、街路灯の維持・補修事業と連携し、電気料の軽減や環境を配慮するための新光源の検討・検証と設置工事費用の軽減を図るための新資材の導入、工法の改善を検討して行きます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	環境配慮形や消費効率の良い機器の試行設置を行い検証・検討を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	改修の実施にあたっては、環境配慮形や消費効率の良い機器の導入を積極的に進め、消費電力量や電気料の削減に取り組めます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	環境配慮形や消費効率の良い機器は、現採用機器よりもまだまだ高価であるため、費用対高価の検証を十分に行う必要があります。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	現状維持により、こまめに分散した発注依頼を行うことで、街路灯の新設設置完了までの時間を短縮し、年間での改修数をなるべく平準化を図り現行の予算規模で事業運営に尽力していきます。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民有灯の助成(維持補修)		款	5	項	3	目	4	事業	3	整理番号	427
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4634	昨年度整理番号	415
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等					
	すべての道路利用者						(1) 地方自治法第281条の2第2項						
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						(2) 杉並区街路灯設置基準						
○私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。						活動指標名(式)							
						(1) 私道街路灯修理件数							
						(2) 電気料助成灯数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
○既設私道街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。						成果指標名(1) 私道街路灯修理率							
						算定式・指標の説明等 私道街路灯修理件数/私道街路灯管理灯数							
						成果指標名(2) 電気料助成率							
						算定式・指標の説明等 電気料助成灯数/電気料助成申請灯数							
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%	
			実績		計画		実績		計画		実績		
指標	活動指標(1)	①	件	1,629	1,500	692	1,500	751	669	112.3	50.1		
	活動指標(2)	②	灯	8,626	8,652	8,632	8,658	8,624	8,641	99.8	99.6		
	成果指標(1)	③	%	20	18	8	20	9	8	112.5	45.0		
	成果指標(2)	④	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	53,611	59,780	52,352	69,564	63,532	63,648	21年度予算執行率% 91.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	24,518	5,788	4,075	13,507	10,587	7,030				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.51 0.00	0.50 0.00	0.51 0.00	0.50 0.00	0.41 0.00	0.45 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,661	4,525	4,616	4,440	3,640	3,996			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	58,272	64,305	56,968	74,004	67,172	67,644				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	35,772	42,870	82,324	49,336	89,443	101,112				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0				
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	58,272	64,305	56,968	74,004	67,172	67,644				
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 427

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				私有灯補修(委託等)	
		私道街路灯故障修理委託(委託等)			4,770
		私道街路灯維持補修工事(委託等)			5,789
		電気料助成			31,116
		その他 ()			0
	(2)事業実績	区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応で迅速に行い、ランプ取替等、私道街路灯の適正な維持管理を行いました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	私道街路灯は概ね一定数量(約8,400灯)となり、灯数の増加による故障等も増加をたどってきました。前年度は故障修理が多かったのですが、今年は減少しました。 管理数値 (平成5年度8,313灯、平成20年度8,358灯)			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	街路灯は区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められています。			
	今後の予測	現状の除隊での推移が見込まれる。宅地開発等による新設私道の増加に伴い、私道街路灯の新設も若干予測されます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	夜間の安全な通行の確保における効果は大きく、他に替えがたいものです。			
	②成果向上のための方策	修理などにかかる単価等の共通化を土木担当部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みです。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	行き止まり私道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地があります。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要があります。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	工事にかかる経費の精査は実施済みです。今後も単価の精査等を行いますが、大幅な縮減は困難です。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	現行の設置基準や助成を維持し、私道上の安全な夜間通行を確保して行きます。また、維持管理については、地域住民の理解と協力を引き続き求めて行きます。経費の大部分を占める電気料の負担軽減のため、建設助成事業と連携し光源改良を検討して行きます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	私道街路灯の所有者である町会、自治会との打合せ時に、維持管理についてPRを行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	故障の発見や適切な維持管理に、区民の理解と協力を得ることができるようしていきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	区民の理解、関心が必要です。街路灯の重要性や修理等の情報を提供していきます。	
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2)理由	現行、予算規模での事業運営に尽力しますが、原油価格の高騰により、電気料金が増える可能性があります。	

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民有灯の助成(建設補助)		款	5	項	3	目	4	事業	4	整理番号	428						
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4634	昨年度整理番号	416						
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	46	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	14	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input type="checkbox"/>	団体	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 杉並区街路灯設置基準							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○私道街路灯街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○申請に基づき、私道街路灯を新設する。 ○老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。																	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標															
		成果指標名(1)		私道街路灯整備率															
		算定式・指標の説明等		私道街路灯新設数/私道街路灯新設計画数															
		成果指標名(2)		私道街路灯器具改修率															
		算定式・指標の説明等		私道街路灯器具改修数/私道街路灯器具改修計画数															
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)									
指標	活動指標(1)	①	灯	18	26	18	26	23	26	88.5	88.5								
	活動指標(2)	②	灯	416	660	651	660	775	660	117.4	117.4								
	成果指標(1)	③	%	69	100	69	100	88	100	88.0	88.0								
	成果指標(2)	④	%	94.5	100.0	99.0	100.0	117.0	100.0	117.0	117.0								
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	31,196	47,242	45,299	58,071	56,775	38,150	21年度予算執行率%		97.8							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	30,259	45,567	43,777	56,370	55,243	36,383	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	30,259	45,567	43,777	56,370	55,243	36,383										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.12 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.11 0.00	0.34 0.00	0.27 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	1,097	996	996	977	3,019	2,397									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	32,293	48,238	46,295	59,048	59,794	40,547										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	113,000	102,731	139,889	103,000	197,870	160,154										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0										
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	32,293	48,238	46,295	59,048	59,794	40,547										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 428

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
				街路灯新設(委託等)	
		私道街路灯器具改修(委託等)			33,742
		私道街路灯ポール改修(委託等)			19,700
		その他 (維持管理用品)			13
	(2)事業実績	新設要望に迅速に対応し、設置年数の長い街路灯は調査を行い、器具改修等で安全性の向上を図りました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	事業開始時と比べると数量は小さくなってきていますが(平成1年8,307 平成8年8,256 平成20年8,358 廃灯有り)民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いています。事業開始時の設置灯数が多く、改修を要する街路灯の数は増加傾向にあります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が寄せられています。			
	今後の予測	新設数については、現在の傾向で推移すると見込まれる。一方改修時期を迎える街路灯への対応が増加します。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由→)	夜間の安全な通行の確保に、大きく貢献しています。			
	②成果向上のための方策	修理などにかかる単価等の共通化を土木担当部全体で図り、工事にかかる経費の精査を実施済みです。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	行き止まり私道について、利用者は特定されており受益者負担を検討する余地があります。また、この場合は、町会取りまとめによる現行の運用方法を見直す必要があります。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	工事にかかる経費の精査は実施済みです。今後も単価の精査等は継続しますが、大幅な縮減は困難です。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題		現行基準をもとに、現場の状況を踏まえ整備を進めます。新設については概ね対応済みのため、今後は改修工事が増加すると考えられる。改修時に光源について、環境配慮型や高効率の機種を導入について検討します。			

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	改修の必要な灯柱を、現地調査をしたうえで選定しました。					
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	民有灯助成については、今後も継続していく必要性があります。改修時期は、設置環境によって変わります。改修数量が増大傾向なため、現地調査を行い年度改修数の平準化を図っていきます。					
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	私道は区の管理権がなく、周知活動にも限界があります。また、宅地開発行為に伴い企業者の新設についても、その後の居住者の状況変化から移設・廃止等の問題が出ることも多く、その調整が課題となっています。灯柱を1本づつ正確に劣化状況を把握する必要があります。					
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由	道路街路灯の要望に対し、私道においては申請に基づく「助成」であることを説明し、要望者並びに近隣住民の理解を得て基準に照らし合わせ新設していきます。また、30年以上経過した器具は、早急に改修を行っていきます。					

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		交通安全運動の推進			款	5	項	3	目	5	事業	1	整理番号	429					
担当部課名		都市整備部交通対策課			係名	交通対策係			連絡先電話番号	3553		昨年度整理番号	417						
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分								既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	40	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	5	事業コード	16	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 地方自治法第2条第8項 (2) 交通安全対策基本法第4条、第18条第1・2・3項												
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) 区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故件数を減少させます。			活動指標名(式)		(1) 交通安全啓発活動を実施した延べ時間数 (2) 自転車安全利用講習会参加者												
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○交通安全協会等への補助金の交付 ○交通安全啓発指導の実施及び、反射材等交通安全啓発用品等の配布 ○区立小学校4年生を対象に、自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。 ○中学生を対象としたスタントマンを利用した自転車安全教室を実施する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区内における交通事故件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 区内における自転車に関係した交通事故件数 算定式・指標の説明等 ※目標値は、平成18年度比20%削減で設定												
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
指標	活動指標(1)	①	時間	501	500	438	500	524	500	104.8	104.8								
	活動指標(2)	②	人	5,775	2,800	3,185	3,100	3,249	2,947	110.2	104.8								
	成果指標(1)	③	件	2,737	2,821	2,428		2,040	0										
	成果指標(2)	④	件	1,080	882	1,097		844	840	100.5									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	15,274	16,231	14,413	45,556	43,693	40,842	21年度予算執行率%		95.9							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成21年度年度末より、新たに高齢者運転免許証自主返納にかかる支援事業が開始されました。									
	(内)委託費	⑦	千円	2,832	3,522	3,033	32,184	30,655	26,751										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.00 0.50	2.50 0.00	2.00 0.50	2.50 0.00	2.65 0.00	2.50 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	18,280	22,625	18,100	22,198	23,529	22,198									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,385	0	1,400	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	34,939	38,856	33,913	67,754	67,222	63,040										
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	69,739	77,712	77,427	135,508	128,286	126,080										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0										
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	34,939	38,856	33,913	67,754	67,222	63,040										
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 429

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	交通安全啓発活動				35,915
	各種団体への支援				4,770
	自転車安全利用証				2,500
	自転車交通安全モデル地区				508
	その他 ()				0
(2)事業実績	警察署と連携した春・秋・冬の交通安全運動などでのPR活動と啓発及び安全グッズの配布や、高齢者や小学校全校を対象とした自転車の実技講習と、中学校でのスタントマンを使った事故再現による自転車安全教室の開催による交通安全啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図りました。				

事業開始当初から現在までの変化	交通事故の発生件数及び負傷者の人数は、年を追って減少しつつあります。ただし、交通事故の死者数については、概ね一桁台で推移を続ける中、平成21年度は前年に比して2名減少しました。
事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	全体の交通事故件数に比べ、自転車が関係した交通事故は減少しましたが、自転車の安全走行ルールやマナーの遵守についての要望・苦情が多くなっています。
今後の予測	高齢者人口が増加し、高齢者の交通事故の割合が増加すると考えられます。また、近年の交通事故は、個人の交通安全意識の低下やモラルの欠如が起因しており、今後も交通安全全般に対する意識の啓発を、より強化していく必要があります。

		左の理由または具体的内容
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由→)	交通安全啓発活動は、区民の生命を守り、交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現するために欠かせない活動であり、今後も継続していく必要があります。
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	より効果的な啓発活動について研究を行います。また、自転車安全利用証の交付制度の実施により、交付する児童だけでなく、家族ぐるみでの自転車の安全運転意識の啓発をしていきます。
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	事業の性質上、受益者負担は適しません。
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	啓発用品の一部を環境にやさしい素材に転換するため、単位あたりのコストが高くなります。また、自転車安全利用者証は、各児童が交付されたという自覚が持てるよう、自転車運転免許許証に近いイメージの素材・デザインでの作製が必要となります。

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	高齢者人口の増加が今後も見込まれており、また、高齢者が関わった交通事故の件数は、若干の減少にとどまるため、交通事故全体に占める割合が上昇することが見込まれ、啓発活動の拡大が必要となってきています。また、効果的な周知徹底を実現するためには、交通の専門家である警察との強固な連携が必要であると考え、連絡会を定例化し意思疎通、信頼関係の構築を高めたことは評価できる点です。なお、小学生・中学生への自転車安全利用講習はシステム化されましたが、大人への講習が大きな課題です。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	スタントマンにより自転車交通事故を再現し、生徒に疑似体験させる教育手法を導入した教室を中学校で開催し、自転車安全ルールの新しい啓発活動の開発に努めました。また、高齢者向けの各イベントで、交通安全啓発にかかるPRの拡大を図ってまいります。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	①警察との強い連携のもと、より効果的な啓発活動の実施に努めます。②歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していきます。③幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売については、今後も実施していくとともに、児童用自転車ヘルメットの普及方法を考えていきます。④自転車安全利用証の交付制度については、効果を検証しながら、より多くの児童に交付されるように努めます。							
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	啓発用品については、より効果的で実用性の高い啓発資材の選定が必要となるため、素材についての情報収集と併せて、関係機関と協議するとともに、効果的な活動を行うために警察と強く連携していく必要があります。また、幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売及び自転車安全利用証交付制度の実施効果について定期的に検証するとともに、児童用自転車ヘルメットの普及について区内自転車商と検討を行います。								
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	○ 大幅増	○ 増	● 増減なし	○ 減	○ 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	幼児用自転車ヘルメットの斡旋販売及び自転車安全利用証制度については引き続き実施していきます。交通事故のない安全で快適なまちづくりを実現していくために、地道かつ継続性のある交通安全啓発活動を実施していきます。また、歩行者、特に高齢者の交通事故防止対策として、視認性を高める反射材等の啓発資材を普及していきます。							

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		交通安全施設の維持補修		款	5	項	3	目	5	事業	2	整理番号	430	
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所		係名	交通安全施設		連絡先		電話番号		4634	昨年度整理番号	418	
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		〇区が管理する道路の利用者		根拠法令等		(1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 道路法第42条						
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		〇区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持する事により、道路利用者の安全を確保する。		活動指標名(式)		(1) 交通安全施設の補修件数 (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		〇破損した交通安全施設の補修工事及び、道路反射鏡・ガードレール・配電型交差点鉾の清掃を行う。 〇配電型交差点鉾の電気料金を支払う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 交通安全施設の相談件数に対する補修率 算定式・指標の説明等 補修件数/相談件数×100 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)				
指標	活動指標(1)	①	件	598	500	525	500	669	500	133.8	133.8			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	%	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0			
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	38,046	38,101	37,993	41,259	41,149	41,567	21年度予算執行率%		99.7		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	36,299	35,516	35,500	38,637	38,588	38,771					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.53 0.00	1.30 0.00	1.35 0.00	1.30 0.00	1.34 0.00	1.33 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,984	11,765	12,218	11,543	11,898	11,809				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	52,030	49,866	50,211	52,802	53,047	53,376					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	87,007	99,732	95,640	105,604	79,293	106,752					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	52,030	49,866	50,211	52,802	53,047	53,376					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 430

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	道路反射鏡等補修(道路反射鏡、防護柵、標識の修理等)(委託等)	669	件		38,525
	交通安全施設清掃委託(発光式道路鏡)(委託等)	219	基		889
	交通安全施設維持管理(電気料金、材料費等)	1	式		1,735
	その他()				0
(2)事業実績	既存施設に老朽化や当て逃げ等の補修において、台帳上からの経年更新及び区民からの情報提供における緊急対応を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	主な交通安全施設の管理数値(各年4月1日) ・防護柵 昭和57年 40,489m 平成15年 36,680m 平成21年 36,589m ・道路反射鏡 3,386本 4,790本 4,853本 ・道路標識 1,632本 1,467本 1,423本
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・交通安全への意識の高まりから、道路反射鏡の向き直し、防護柵の補修要望が増えています。 ・建築工事などに伴う、交通安全施設の承認(自費)工事による移設要望が多くなっています。
	今後の予測	交通安全施設の整備は着実に進められており、今後も交通安全施設は増加していきます。また、区民等の交通安全への意識の高まりから、維持補修件数は増加するものと予測しています。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	交通安全施設を適正に管理し、その機能を保持することは、道路交通の安全を確保する上で、非常に重要です。
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	交通事故などによる施設破損等の緊急時の初期対応を職員らが行うことで、危険回避や経費削減を図っています。
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	道路は無料で一般に供されるのが原則のため、受益者負担は適切ではありません。
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は困難である。
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	交通安全施設の点検や清掃の実施、迅速な修理を通じて、区民の安全を保ってきました。今後は、交通安全施設の整備事業と連携し、耐久性が高く視認性の高い機器を導入し、経費の節減と安全性の確保に取り組んでいきます。また、税金の適切な投入のため、自己都合による移設や撤去、また、交通事故の原因者には、道路法の趣旨を説明し、承認(自費)工事として対応していきます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○増 ●現状維持 ○減 コスト: ○増 ●現状維持 ○減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 接触事故等による道路反射鏡鏡面の交換頻度を削減するために、耐久性の高いステンレス製鏡面への交換を進めています。また、道路警戒標識板を広角プリズム板に随時交換し、夜間などの視認性を向上させるなど、恒久性や視認性が高い交通安全施設の更新を行いました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするか) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入 引き続き、耐久性や視認性の高い施設への更新を行っていきます。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 数多い既存の交通安全施設全てに、更新を行うのはまだ期間が必要となります。
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性 ○大幅増 ○増 ●増減なし ○減 ○大幅減 ○予算なし
	(2)理由 市場単価と見積単価を整理し、経費の改正を行いながら設計工事費を算出しています。以前の様な鋼材等の急激な物価上昇が無い限り、予算の増減は見込めません。

平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		交通安全施設の整備			款	5	項	3	目	5	事業	3	整理番号	431		
担当部課名		都市整備部杉並土木事務所			係名	交通安全施設係		連絡先電話番号	4634		昨年度整理番号	419				
上位施策No・施策名		6 交通安全の推進			予算事業区分				投資事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	4	事業コード	12	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ○区が管理する道路の利用者				根拠法令等	(1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 道路法第45条、第85条									
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○各種交通安全施設を整備充実させ、交通事故の防止や減少を図る。				活動指標名(式)	(1) 道路反射鏡の整備数(決算数値) (2) 自発光式交差点鈺の整備数(決算数値)									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○道路反射鏡、自発光交差点鈺、防護柵等の交通安全施設を整備・充実する。				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	道路反射鏡の整備数				算定式・指標の説明等										
	成果指標名(2)	自発光式交差点鈺の整備数				算定式・指標の説明等										

区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)	目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	基	94	150	147	150	142	100	142.0	94.7	
	活動指標(2)	②	基	23	25	23	25	24	25	96.0	96.0	
	成果指標(1)	③	基	674	830	821	980	963	1,063	90.6	98.3	
	成果指標(2)	④	基	151.0	169.0	174.0	194.0	198.0	223.0	88.8	102.1	
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	91,536	109,425	106,005	115,431	112,996	115,431	21年度予算執行率% 97.9		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	89,376	107,159	103,747	113,141	110,736	113,141	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	89,376	107,159	103,747	113,141	110,736	113,141			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	3.64 0.00	3.70 0.00	3.82 0.00	3.70 0.00	3.78 0.00	3.67 0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	33,270	33,485	34,571	32,852	33,563	32,586		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	124,806	142,910	140,576	148,283	146,559	148,017			
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	376,915	238,340	250,537	234,280	252,275	348,760			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		⑮	千円	/	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	124,806	142,910	140,576	148,283	146,559	148,017			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 431

21年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				道路反射鏡新設改良	142
		自発光式交差点錐の新設改良	24	基	5,203
		視覚障害者誘導標示新設・改良	791	枚	4,250
		白線新設・改良	60698	m	28,600
		その他 (交通安全施設整備工事ほか)			45,526
	(2)事業実績	平成21年度は、ほぼ計画通りに実施されました。しかし、未達成理由としては、地先区民の同意が得られないなど、各種交通安全施設の設置条件が満たない場合等がありました。			
事業環境 の変化	事業開始当初から現在までの変化	交通安全施設に対する、設置・改良要望は依然として増加傾向にあります。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	生活道路の抜け道化、高齢化等により、交通安全の確保に対する要望が増えています。			
	今後の予測	今後も、新規設置要望に加え、増加する既存施設の改良との併用の増加が見込まれます。			
事業の あり 方 点 検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 各種交通安全施設を充実させることにより、交通事故の防止、注意喚起を行う事ができます。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(②へ↓) ②成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容→)	一回毎の施工指示コストが増大する。しかし、数箇所まとめて指示、施工することで事業費を抑制することができます。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	道路は無料で一般に供されるのが原則であるため、受益者負担は適切ではありません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	現行予算は市場単価と見積単価の標準工事費のため、これ以上の削減は困難であります。			
協働等 点 検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	交通安全の確保の上で本事業への期待は大きい。それに応えるべく、現場の状況を踏まえ新設だけでなく既存施設の改良等も行い、交通安全施設の機能の向上及び確保に努めて来ました。 今後は、施設整備に頼るのみでは解決が難しい交通安全確保のために、交通ルールや交通法規を遵守させる方策との相乗効果で取り組みます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成20年度、21年度に道路反射鏡の新設・改修目標本数の前倒しを図った事により、本年度の目標本数の見直しを行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、要望箇所や交通事故が頻発する交差点等において、交通安全施設を設置して行くと共に、既存施設の改良も併せて行っていきます。 ・新設・改良施設とも、高機能かつ耐久性の強い施設を設置して行きます。 	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ● 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	市場単価と見積単価を整理し、適切な工事単価を改正を行うと共に、計画的な新設改修を行っております。従って、以前のような鋼材等の急激な価格変動が無い限り、予算の増減はないと考えます。	